

大里中学校 英語科シラバス 2 学年



1 授業のねらい（身につけて欲しい力）

教科書名「Sunshine English Course2」
補助教材「めきめきEnglish」

1. 外国語で簡単な情報や概念・要点などを理解したり、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や文を用いて表現する能力
【主体的に学習に取り組む態度】
2. 外国語で簡単な情報や概念・要点などを理解したり、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や文を用いて表現できる能力
【思考・判断・表現】
3. 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。
【知識・技能】

2 授業の進め方

英語の授業では、英語力の向上を目指して「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」などの技能をフル活用しながら授業を展開していきます。そのため、英語の授業においては「聞き手」「読み手」「話し手」「書き手」に応じてペアワークやグループワークなどのコミュニケーション活動を通して英語を学習していきます。

3 学習上の留意点

- ① classroom Englishを使って会話しましょう。
- ② 学習用具はしっかりそろえてください。休み時間のうちに机の上に準備しましょう。
- ③ ファイルと辞書は教室のロッカーに保管し、授業の時は机の上に準備します。
- ④ ペアワークやグループワークの時は英語で！（英語は使わないと身に付きません）
- ⑤ テスト、プリントなどはきちんとファイルにつづりましょう。

4 補助教材の活用方法（自学自習の進め方）

- ① 4線ノートを準備して、授業中の板書やポイントなどをメモしましょう。
- ② めきめきEnglishなどを活用して授業の振り返りなどをしましょう。
- ③ スタサブやタブレットを活用して動画をみたり学習内容を繰り返し学習して基礎基本を固めよう！

5 単元テスト及びパフォーマンステスト

- ・原則各単元でペーパーテスト（リスニングがあるときも有）を実施します。
- ・単元の目標に応じてパフォーマンステスト（4技能を活用）したテストを実施します。
※単元テストのみで評価が決まるわけではなく、次の評価の内容と方法で総合的に学習状況をみとって評価します。

6 評価の内容と方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	授業で学んだ知識や技能が身についているか。それを生活や他の場面で活用できるか。	授業で学んだ知識や技能を、課題解決のためにどのように判断し、表現にいかしているか。	知識・技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりする粘り強い取り組みの中で、自分の学習を調整する力。
方法	定期テスト・単元テスト 本読みテスト パフォーマンステスト	パフォーマンステスト 英作文、スピーチ 定期テスト、提出物の内容（ポスター、ワークシート）等	学習態度・授業への参加状況・発表、振り返りシート

この方法で学習状況をみとり、各単元ごとで示す「ループリック」に照らして評価します。

7 授業計画（見通しを持って予習・復習の自学自習に取り組みましょう。提出物も忘れずに！）

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
1学期	4	- Program 1 New Start (未来表現・動名詞) - Step 1 簡単な表現で言いかえよう	- 単元テスト - パフォーマンステスト - 提出物	・未来表現や動名詞の意味や働きの理解をもとに、予定や楽しんだことなどについて伝え合う技能を身に付けている。 ・言い方がわからない単語を自分が知っている表現を使って説明する方法を理解し、伝える技能を身に付けている。
	5	- PROGRAM 2 Koshien Project in Africa (接続詞 that・when・if) - Power-Up 1 天気予報を聞こう	- 単元テスト - パフォーマンステスト - 提出物	・接続詞の意味や働きの理解をもとに、自分が思っていることや過去のある時点にしたことなどについて伝え合う技能を身に付けている。 ・天気予報で使う語句や表現の理解をもとに、内容を聞き取る技能を身に付けている。
	6	Step 2 魅力を伝えるためのコツを知ろう	- 単元テスト - パフォーマンステスト - 提出物	・おすすめのものの魅力について、効果的に伝える技能を身に付けている。
	7	Program 3 Taste of Culture (不定詞)	- 単元テスト - パフォーマンステスト - 提出物	不定詞（名詞的・副詞的・形容詞的用法）の意味や働きの理解をもとに、したいことや行動の目的などについて伝え合う技能を身に付けている。
2学期	8 9	PROGRAM 4 Leave Only Footprints 感情の原因を表す不定詞 (must・have to ～)	- 単元テスト - パフォーマンステスト - 提出物	・感情の原因を表す不定詞、mustやhave to ～の意味や働きの理解をもとに、うれしかったことやしなければならぬことなどについて伝え合う技能を身に付けている。
	10	PROGRAM 5" Work Experience how to ～ (lookなど) + 形容詞 [名詞] 動詞 (giveなど) + 人 + もの	- 単元テスト - パフォーマンステスト - 提出物	・how to ～、<look + 形容詞>、<give + 人 + もの>の意味や働きの理解をもとに、やり方、人やものの様子などについて伝え合う技能を身に付けている。
	11	PROGRAM 6 High-Tech Nature (比較級・最上級 as ～ as ...)	- 単元テスト - パフォーマンステスト - 提出物	・比較表現の意味や働きの理解をもとに、身近な事柄について自分の考えを伝え合う技能を身に付けている。
	12	Power-Up 4 メールで近況報告をしよう メールで使う表現 (過去形) Step 4 相手にわかりやすい説明をしよう Reading 2 Friendship beyond Time and Borders	- 単元テスト - パフォーマンステスト - 提出物	・メール文で使う表現や時間制の理解をもとに、受信したメールの概要を読み取る技能を身に付けている。 ・わかりやすい説明に必要な要素や、説明する順序を理解し、相手が知らない事柄について簡単な語句や文を用いて伝える技能を身に付けている。 ・時間の経過や人物の心情を表す表現の理解をもとに、トルコと日本の友情関係について、概要や要点を読み取る技能を身に付けている。
3学期	1	PROGRAM 7 Unique Animals likeを使う比較表現 (teach [tell] + 人 + how to ～)	- 単元テスト - パフォーマンステスト - 提出物	・likeを使う比較表現や<teach [tell] + 人 + how to ～>の意味や働きの理解をもとに、自分の考えを伝えたり、何かの仕方をたずねたりする技能を身に付けている。
	2	PROGRAM 8 A Hope for Lasting Peace (受け身) Power-Up 5 飛行機のアナウンスを聞こう (空港や飛行機内での英語表現) Step 5 説得力のある説明をしよう	- 単元テスト - パフォーマンステスト - 提出物	・受け身の意味や働きの理解をもとに、身の回りのものについて伝える技能を身に付けている。 ・空港アナウンスで使われる表現や、運行状況や到着地の天候についての表現を聞き取る技能を身に付けている。 ・客観的事実や具体的な理由を述べるなど、説得力のある説明をする技能を身に付けている。
	3	- Our Project 6 My Heroの魅力伝えよう - Reading 3 Apollo 13	- 単元テスト - パフォーマンステスト - 提出物	・既習の言語材料の意味や働きの理解をもとに、自分が尊敬する人物についてのスピーチ原稿を書く技能を身に付けている。 ・場面や登場人物の心情を表す表現の理解をもとに、アポロ13号が当時おかれていた状況と乗組員の心情を時系列にそって読み取る技能を身に付けている。